

—「郡山市市民活動推進顕彰事業」審査委員会委員—

(敬称略・五十音順)

委員長 水野時子 (郡山女子大学短期大学部 家政科 准教授)
 浅見公紀 (浪江焼麺太国 事務局長)
 石塚通 (大槻探訪編集室 編集長)
 キャメロン・ロイ・スチュアート (株式会社フリーコム 代表取締役)
 鈴木雅之 (株式会社JTB東北 地域交流・MICE事業部 事業部長)
 深谷祐次 (日本政策金融公庫 郡山支店 支店長)



がくとくんの妹
「おんぶちゃん」

平成27年度

郡山市市民活動推進顕彰事業

「まちづくりハーモニー賞」



平成25年度、平成26年度 受賞団体

受賞 平成25年度

市民活動実践部門

「逢瀬ひよっこ愛好会」
 「片平歴史の会」
 「郡山市東部婦人会」
 「豊増 良子氏」
 「中村 三郎氏」

青少年部門

「郡山市立片平中学校」

イベント部門

「あさか野柴宮案山子まつり実行委員会」
 「郡山市大町商店街振興組合」
 「ちびっこうねめまつり実行委員会」

震災復興部門

「NPO 法人ウィメンズスペースふくしま」

受賞 平成26年度

市民活動実践部門

「おにぎりプロジェクト委員会」
 「郡山クリームボックス楽団」
 「郡山グリーンカレー愛好会」
 「笹川のあばれ地蔵保存会」
 「多田野の鋤柄舞田植踊り保存会」
 「朗読グループ ハイジ」

市民活動応援部門

「株式会社 渡富建設」

青少年部門

「岩代国郡山うねめ太鼓保存会 小若組」
 「郡山市立湖南小・中学校」

イベント部門

「海老根秋堂実行委員会」

特別賞

「特定非営利活動法人 移動保育プロジェクト」

「まちづくりハーモニー賞」とは

市民の皆様が自主的、主体的に行う地域の特性を生かした創造性豊かな地域づくりや、多くの方に影響を与えることが期待できる波及効果のある市民活動など、優れた取り組みを行っている個人、団体、事業者を表彰することにより、協働のまちづくりを推進するものです。

今年度は、「市民活動実践部門」、「市民活動応援部門」、「青少年部門」、「イベント部門」の4つの部門において優れた取り組みを実践している9団体が受賞されましたので、御紹介いたします。



郡山市イメージキャラクター
「がくとくん」

受賞者紹介

(敬称略・五十音順)

市民活動実践部門 | 地域づくりやコミュニティ活動等、先進性・継続性のある市民活動の実践者

郡山おもちゃの病院

平成22年に県内には診療所がなかった「おもちゃの病院」を設立するため、設立準備会をつくり、「おもちゃドクター」になるための技術を習得し、平成23年から診療を開始しました。

おもちゃを修理することを「治療」と呼び、壊れたおもちゃを持ち主の子どもと一緒に治すなど、子どもたちに物の大切さを教えるとともに、世代間交流、「おもちゃドクター」の養成などの活動に取り組んでいます。



おもちゃの治療の様子

郡山子ども文庫連絡協議会

子ども文庫は、個人やグループ等で児童図書を集め、地域の子どもたちに貸出、読み聞かせ、お話し会などの文庫活動を行う小規模図書館のことです。

市内の文庫が、互いに協力し情報交換することにより、子どもたちのより良い読書環境づくりを目指して、昭和51年に連絡協議会を設立し、研修会や夏休み巡回お話し会、会報の発行など、読書推進活動に取り組んでいます。



寄贈された本を各文庫へ配布

緑ヶ丘西三丁目町内会

高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らすことのできる地域づくりを目指して、平成24年に「支え合いの町づくりの会」を設立し、町内会活動の一環として地域づくり活動を開始しました。

地域住民の参加・協力により、高齢者の生活問題等の情報共有を図ることで、地域住民同士の絆を深め、高齢者の自立生活支援に取り組むとともに、市や地域包括支援センターによる講座や健康チェックを開催する等、関係団体と連携し事業に取り組んでいます。



地域住民の交流会の様子

市民活動応援部門 | 市民活動の推進に寄与する支援活動を行った個人、団体、事業所

有限会社安積精機工業

久保田五十二町内会では、長年、町内会会員(女性や子どもたちも含む)の協力のもと、「資源回収」に取り組んでいます。徐々に町内全域に回収作業が拡大するに伴い、資源物の回収や運搬等の作業が困難な状況となっていました。

そのような中、平成5年頃より(有)安積精機工業が中心となり、(有)誠進自動車、(有)佐々木自動車、(有)丹治保温等の町内の事業者が協力し、町内会資源回収活動の支援に取り組んでいます。



資源回収への支援の様子

青少年部門 | 地域づくりやコミュニティ活動等、先進性・継続性のある市民活動を行った青少年

郡山市立桃見台小学校

東日本大震災を経験したふるさと郡山そして子どもたちが、もっと前に進むために、一人ひとりが周囲にも目を向け、今、自分にできることは何かを考え行動してきました。例えば、自分たちが育てた花苗を、近くにある仮設住宅や震災後利用者の減少した公園、保育所や学校等に届けたり植えたりする活動をしてきました。美しい花や人とのふれあいを通して、地域全体が元になり、また、子どもたちにとっても貴重な体験となりました。



仮設住宅の住民へ花のプレゼント

郡山ジュニアフィルハーモニーオーケストラ

郡山ジュニアフィルハーモニーオーケストラは、昭和52年、管弦楽部をもつ中学校が郡山市内にひとつしかない時代に、子どもたちが継続的に活動できるようにと設立された団体で、小学4年から高校3年までの子どもたちが活動しています。定期演奏会をはじめ、各種イベント等での演奏や市内外・県外での音楽交流を通して、児童生徒が音楽に触れる機会を創出するとともに、先輩団員を中心に子どもたち同士で教え合うなど音楽文化の振興に取り組んでいます。



第38回定期演奏会終了後の様子

福島県立郡山商業高等学校

郡山商業高等学校は、「自治・勤労・感謝」の校訓のもと、商業に関する知識と技術を身につけ、地域経済社会に貢献できる人材の育成に取り組んでいます。3年生の課題研究の授業の一環として、「こおりやまグリーンカレー」を活用した地域経済活性化を研究テーマに平成27年4月から郡山グリーンカレー愛好会と協働で「こおりやまグリーン化大作戦」と名づけ、風評被害の払しょく及び食の安全を全国に発信するため、まちおこし活動に取り組んでいます。



みんなで開発した商品を販売

文京学院大学 中山ゼミナール

中山ゼミナールでは「持続可能な循環型社会」の実現を目標に学生が主体となり自分たちが持つ専門的知識等の資源を生かした実践活動に取り組んでいます。平成17年の逢瀬町へのグリーンツーリズムをきっかけに相互交流が始まりました。東日本大震災以降は、復興支援のため、埼玉県ふじみ野市の商工会等も巻き込み、逢瀬町野菜の代行販売を行うとともに、農産物の6次化研究にも取り組む等、学生が地域住民と協働で地域づくり活動に取り組んでいます。



逢瀬町野菜の代行販売

イベント部門 | 多くの市民が来場し、まちの活力や魅力の創出に貢献するイベント

三穂田町笹原川千本桜まつり実行委員会

笹原川千本桜まつりは、桜の名所である「笹原川の千本桜」を広く地域内外にPRするとともに、地域の活性化とふるさとづくりへ繋げることを目的として、平成15年から地域の観光協会、区長会など地域住民が協働で開催しているイベントです。

桜まつりは、安積守屋甚句の披露など、地域の歴史文化発信の場としても活用されており、平成27年度は、桜まつりに約4,000人、約2週間の桜シーズン全体では約6,000人が訪れています。



まつりでは地域の伝統芸能も披露